

平成28年6月10日

新潟県での三方良し スタートから今日までの取組について



三方良しの公共事業推進研究会
新潟支部 支部長 小野 貴史

新潟県土木部の取組方針

事業の進め方”三方良しの公共事業改革”



段取り良く、工期短縮等により、
「住民良し」「建設企業良し」「行政良し」
三者お互いのWin-Win関係を目指し、
住民から喜ばれる事業を実施します。

[住民]	早期に利便性が向上
[建設企業]	工期短縮により利益率向上
[県]	県民サービスの早期提供

土木部全体として 三方良しに取り組むという 意気込みの表れ

各地で勉強会を開催

発注者主催



受注者主催



受注者・発注者が 一緒に学ぶ

行政と企業による工事目的の共有



「誰のために・何のために 工事をするのか」を共有する

地域とのコミュニケーション

工事の目的を掲示



工事日より発行



工事の目的、施工者の思いを伝える

地域とのコミュニケーション

工事見学場所の設置



地域の方へのインタビュー



地域の方々の思いを聴く

地域とのコミュニケーション

思いがけず野菜の差し入れをいただきました。



地域の方から「**ありがとう**」の言葉

三方良しの取組事例発表会



- 誤解される建設業
- 建設業の存続
- 技術継承の危機

受注者、発注者共通の懸念

国・県・企業が
事例を発表、情報を共有

新潟県の三方良しの取組

受注者・発注者・住民が
**目的を共有し、
立場をこえて協力し合う**

みんなに「ありがとう」と
言われる公共事業をめざして



ご清聴ありがとうございました。